

ぬまづ憲法9条の会

137号

事務局
神田健夫
921-7755

安倍首相は 臨時国会を開き、 疑惑に答えなさい

政府与党は、共謀罪法を奇手で強行成立させ、加計疑惑に蓋をしようと、国会を慌てふためいて閉会した。

安倍内閣の支持率は、毎日新聞世論調査で不支持44%、支持36%など軒並み下落、人々の憤りは凄い。

野党の憲法53条に基づく臨時国会開催要求を、安倍内閣は「加計疑惑追及を嫌がり」拒み続けている。

ところが、24日、安倍首相は、改憲原案の提示を、「秋の臨時国会が終わる前までに」早めると言い出した。

(23日読売新聞インタビューで保岡自民党改憲推進本部長は「改憲発議は来年6月」と述べ

ている)

加計疑惑逸らしとともに、安倍首相は、衆参各3分の2の議席をもつ今、何が何でも改憲をとという野望に燃えているのだ。

来年6月には改憲発議

5月には読売新聞のインタビュー、日本会議系の改憲集会でのビデオ・メッセージで2020年改憲を打ち出した。

今回は産経新聞発行の月刊誌「正論」懇話会での発言だ。

安倍首相の“御用”メディアでは改憲を説き、国会では「読売新聞を読め」とう

そぶき、後はだんまりである。

首相がなすべきは、憲法53条に基づく臨時国会開催要求に応じ、本人と妻・昭恵氏への疑問に答えることだ。憲法を無視する首相が、改憲のハンドルを握ることなど許されない。

海外で戦争する自衛隊

「海外で戦争する自衛隊だけは勘弁を」の一点で9条の会世話人・弁護士

伊藤真さん

6月2日の九条の会講演会リレー・トーク発言の一部を紹介しします。

専守防衛の自衛隊を明確にしておく、災害救助で活躍する自衛官の思いを含めて、9条に明確に規定した方がよいのではないかと考える方もおられるかもしれませんが。しかし、戦争法が通った後の自衛隊を憲法に書くことは、海外に出て行って、人を殺し、殺される自衛隊を、憲法に明確に位置付けてしまうことを意味し

ます。九条の会は自衛隊についての考えも様々だと思えますが、海外で戦争する自衛隊だけは勘弁してくれとの1点では、皆さん一致できるのではないかと。

2020年施行と言っています。まず、発議させないことが重要です。

人を殺し殺される、そんな自衛隊を憲法の中に入れてしまうこと、本当にいいんですか、ということを増やす皆さんに伝え、仲間を増やしていただきたい。

ぬまづ憲法9条の会

12周年の集い

◎ 11月5日(日)

開始 13時15分

会場 沼津労政会館

第1部 フルート演奏

奏者・齊藤匠さん

第2部 講演

講師・アーサー・

ビナードさん(詩人)

*会場をエレベーターのある施設と努力しましたが、いずれも満室でした。

ビナードさんの近著に文化放送のラジオ番組を基にした「知らなかった、ぼくらの戦争」があります。(市立図書館にリクエスト中。ゆ)

「改憲を断念させよう」

7月17日(月・休日) 集会 15時30分

パレード 16時00分

会場 沼津中央公園(大手町)

主催・戦争させない

憲法こわすな 沼津の会

改憲を断念させましょう

駅前スタンディング

7月 8日(土)

7月15日(土)

7月22日(土)

時間・13時30分

14時15分

場所・沼津駅南口イラde前



後法は前法を廃す

6月2日九条の会講演会
リー・トークでの発言紹介

世話人・一橋大学名誉教授 山内敏弘さん

憲法9条2項は、一切の戦力、交戦権を否認しては、
「前項にもかかわらず、自衛隊の存在は認められる」と書く案があるようです。

ちなみに、法律の世界では、後法は前法を廃すとの法原則があつて先に制定された法が、仮に形式的に廃棄されていない場合にも、これと矛盾する新法が後に制定された場合には、前法は廃止されるということである。この法原則にならうと、少なくとも、3項が優先的に解釈されることになりません。

確かに、自衛隊の存在を認めても良いということ、その自衛隊を憲法で明記するということは、非常に大きな差がある、違いがあ

るということに留意することが必要です。

(九条の会ニュースより)

ゴールは国軍保持だ 麗澤大学客員教授 西岡力さん

ゴールは国軍保持だが、そのためにも9条に自衛隊を明記するこの戦いに負け

るわけにはいかない。
西岡氏は安倍首相のブレインの一人とも。「国家基本問題研究所(桜井よし子理事長) 評議員。」

核兵器をなくす条約 平和の鐘の取り組み

沼津では9条の会が11年前から、核兵器禁止を願つて寺などの鐘を鳴らす「平和の鐘」に取り組んできました。今年の取り組みは格別のものになります。

それは、今、国連では核兵器禁止条約を制定しようと、7月7日に向けて努力が重ねられているからです。条約草案は、「ヒバクシャおよび核実験の被害者の苦

しみに留意する」と表明し、ヒバクシャらの核兵器廃絶への努力を「認める」と記してもいるのです。

核兵器は、国際法で禁止されていない唯一の大量破壊兵器です。今回の国連会議は多国間で核兵器廃絶を進める重要な、歴史的な一歩と言えます。

おかしなことに、日本政府はこの交渉に参加していません。世論の力で政府の姿勢を変えさせねば。

合わせて、9条の会が協力して「平和の鐘」の取り組みを、これまで以上に広め、強めていきたいものですね。

翁長知事 辺野古に新たな 基地造らせない

6月23日、沖縄戦終結から72年目を迎えた、6月23日、慰霊の日。

フェンスを飛びこえて絞め殺されていく大海を泳いで・・・高校3年生、上原愛音

(ねね)さんが読んだ詩の一節だ、翁長知事は平和宣言で、「辺野古に新たな基地を造らせないため、不撤退の決意で取り組む」と述べた。

安倍内閣・防衛省は、岩砕破砕許可も得ず違法工事を行っており、沖縄県は工事差し止め訴訟に踏み切ろうとしている。
わがこととして連帯していききたい。

第4の権力に求める

6月23日、前川文科省前事務次官が記者会見を行った。読売新聞の出会い系バー

報道について「わたしへの個人攻撃。官邸の関与があつたと思つている」と述べ、「背後には何があつたのか、メディア関係者の中で検証されるべきだ」と語った。

「私に最初にインタビューしたNHKが未だに放送していない」とも述べた。

「第4の権力」とも言われるメディアの自己検証が問われる。

改憲を断念させよう

6月18日集会・木陰力フェ

共謀罪法の強行成立が図られた15日の国会行動に参加した女性などの怒りの報告を受けて、次々と発言が。

若い母親グループ、Tea + αの「国会音読*」が笑いを誘った。とりわけ、金田法務大臣の意味不明な答弁には爆笑。

*国会音読＝金沢市のある主婦が書き起こした国会質疑を、「声に出して読んでみよう」と数人で始めたところ、面白さが共感を呼び、簡便さが相まって続く人たちが相次いだ。



6月18日集会 tea + αの国会音読